

## 令和5年度 学校関係者評価

### 1 自己評価書全般について

#### 重点的な取組事項－1 学力向上(基礎的・基本的事項の定着 思考力・判断力・表現力の育成)

朝のチャレンジタイムで、音読や視写、計算、読書などを行ったり、放課後学習を行ったりして、基本的なことを身につけることができていることが、2月の予備調査の結果からわかる。算数では習熟度別の授業を確実にを行い、自分の考えたことをノートにかいたり、友達に伝えたりすることで、これからも思考力・判断力・表現力をのばして行ってほしい。今年度はICT機器を活用した授業がさかんに行われるようになったことが学力向上につながったのであろう。今後も授業での効果的な使い方を試行錯誤しながら探して行ってほしい。

#### 重点的な取組事項－2 教師の授業力向上(小・中連携、校内OJT、巡回指導等)

教員の授業力を高めることは子供の学力向上に直結するだけでなく、子供の登校への意欲につながる事なので、そこに力を注ぐことがよい。若手教員の授業力向上のために主任教諭が模範授業を行い、それを手本に若手が授業を組み立て、お互いに見合うという取り組みは効果的であったことが想像できる。校内研修は今後も続けて行ってほしい。梅一小的児童は、静かに授業を受け、ノートなどもきれいに書いているが、発言を進んでする子はあまり多くないと聞いている。先生方には児童が自信をもって自分の考えを発表できるような授業を行い、話し合いながら考えを深めていけるように指導してほしい。

#### 重点的な取組事項－3 心身の健康推進(保護者・地域等との連携)

道徳授業地区公開講座を参観し、その後の意見交換会にも参加し、道徳の授業のすすめ方や親世代の考え方を知ることができた。道徳の授業を週1回積み重ねていくことで、多様な心情に触れ、道徳的価値観を高めていくということが分かった。その力を日常生活の中で十分に発揮できるようになることを期待したい。体力については、前年度より体力調査の結果がわずかではあるが伸びたと聞いている。今年度の取り組みを続け、さらに効果的な体力向上策を講じていき、体力向上に注力してほしい。

### 2 学校から提示された「課題」や「保護者・地域への期待」について

今年度は、コロナ禍以前のように、開かれた学校づくり協議会主催の「芝の上の映画会」を開催することができた。夏の暑い日に地域、保護者、児童が集い、かき氷を食べたり、ふかふかの校庭に座って映画を見たりする経験は梅島第一小学校ならではの事なので、今後も続けていきたい。また、学校が第一に掲げている「オ・ア・シ・ス・ハ」の実現のために地域ぐるみで協力していきたい。

### 3 その他

今年度は創立90周年を迎え、地域と学校が一体となって周年行事を計画・実行し、児童の心に残る1年となったことをうれしく思う。一つのことにもみんなで注力し、やり遂げることができたのは学校のためでもあり、地域の一体感を深める良い機会となった。今後は、100周年をめあてに、学校の応援団として、「グリーンプロジェクト」「華道教室」「盆踊り体験」などを中心に開かれた学校づくり協議会としての活動を行っていきたい。